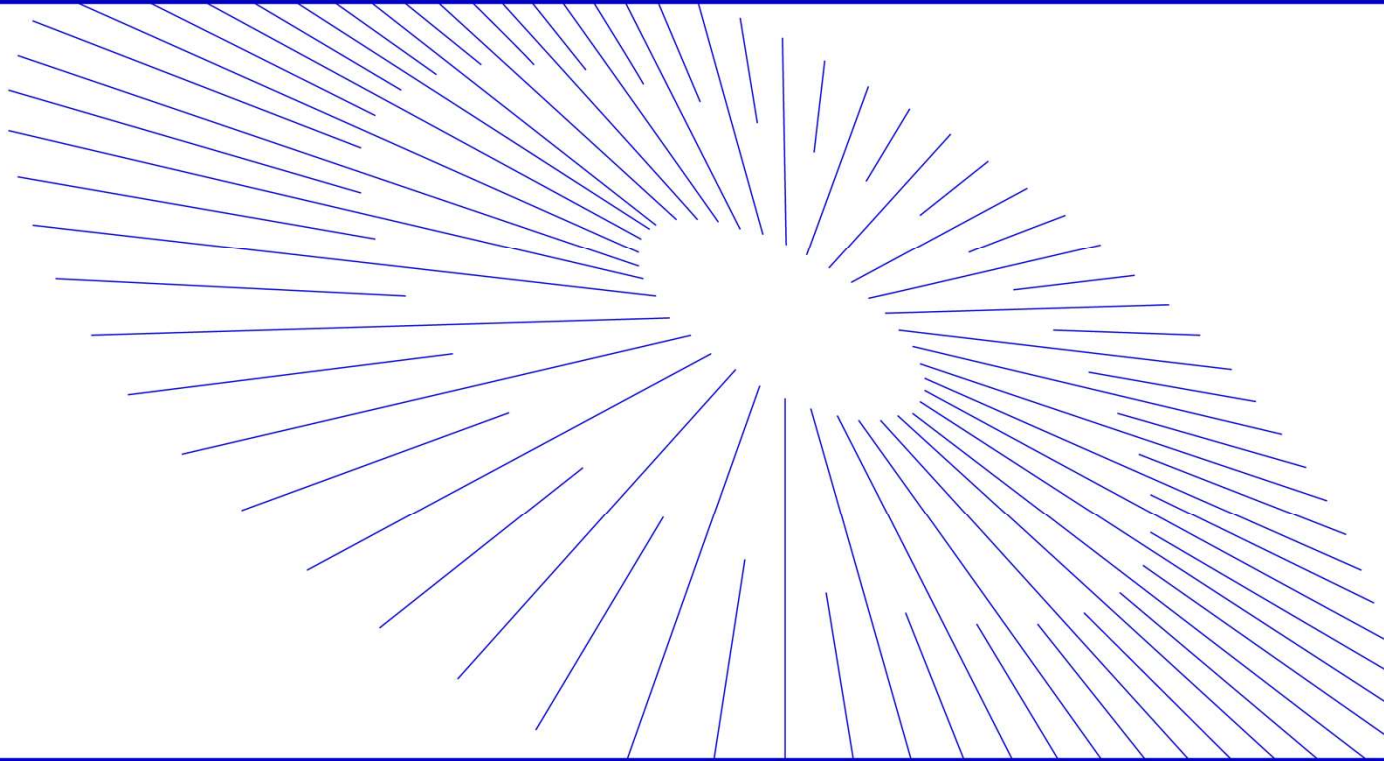


# Edge2 V6 Release Note

2024/06/25 1.1

---



EARTHBRAIN

# Edge2 v6 アップデート項目

種別	改善項目	リリースエリア	改善内容	リリースVer	アップデート予定日	参考資料またはUIイメージ
新機能	不要物除去改善	全ての国地域	現場にあるブルーシート等を除去する/しないの設定を追加します。除去できるシートの色などは参考資料にて説明予定	v6-hotfix	8月21日	現状なし
	フライトマップ表示	全ての国地域	i-con提出書類で80%以上のラップ率担保資料を出力可能とします。	v6-hotfix	8月21日	現状なし
	120点/m2の点群密度出力	全ての国地域	120点/m2程度のモードを追加します	v6-hotfix	8月21日	現状なし
	i-con精度検証レポートとカメラキャリブレーション情報のDashboardへのアップロード機能	全ての国地域	現状USB経由で出力可能ですが、Groupwareへのカメラキャリブレーション、精度結果レポートの転送が可能となります。	v6	7月10日	P4
	PPKからDashboard Uploadまでの一気通貫処理	全ての国地域	現在はPPKから点群生成までと、生成済みデータのUploadについては処理のキューイングを含めた自動処理ができる。しかしPPK処理からUploadまでの一気通貫処理ができると一連の処理を夜中に回しておけるので、ユーザの待ち時間がなくなる。	v6	7月10日	P5

# Edge2 v6 アップデート項目

新機能	点群生成後の点群名称変更	全ての国地域	点群生成後に点群名称を変更が可能となります。	V6	7月10日	P6
	緯度経度表示の小数点以下を9桁表示	全ての国地域	アップデート後、表示が9桁となります。	V6	7月10日	P7
	不要物除去の数値選択	全ての国地域	不要物除去の強度設定は現状スライダーで制御するが、スライダーが合わせにくい場合があり、強度を数値で設定できるようになりました。	V6	7月10日	P8
	フライトデータ名のフル表示	全ての国地域	点群表示時に現場名だけでなくフライト名を表示する。 点群名が長く表示しきれていない部分について、フル表示が可能となりました	V6	7月10日	P9
	点群名の表示追加	全ての国地域	点群表示画面や点群処理中の画面でユーザーが定義した点群名を表示できるようになりました。	V6	7月10日	P10
	処理時間表示（実際にかかった時間）	全ての国地域	点群処理時間、アップデート時間それぞれ掛かった時間が後で確認できるようになりました	V6	7月10日	P11
	Dashboardからのポイント継承	全ての国地域	Dashboardからのプロジェクト継承及びGC3パラメータの継承機能はすでにあるが、Edge2の設置点情報を追加することが可能となりました	V6	7月10日	P12
性能改善	テキストチャの取れない領域での精度改善	全ての国地域	一部現場状況にて黒土部などでテキストチャが上手く検出できず、点群二重化が発生した事象への対処。	v6-hotfix	8月21日	現状なし

① 「i-con精度検証」を選択

② 「検証結果をクラウドに送信する」を押す

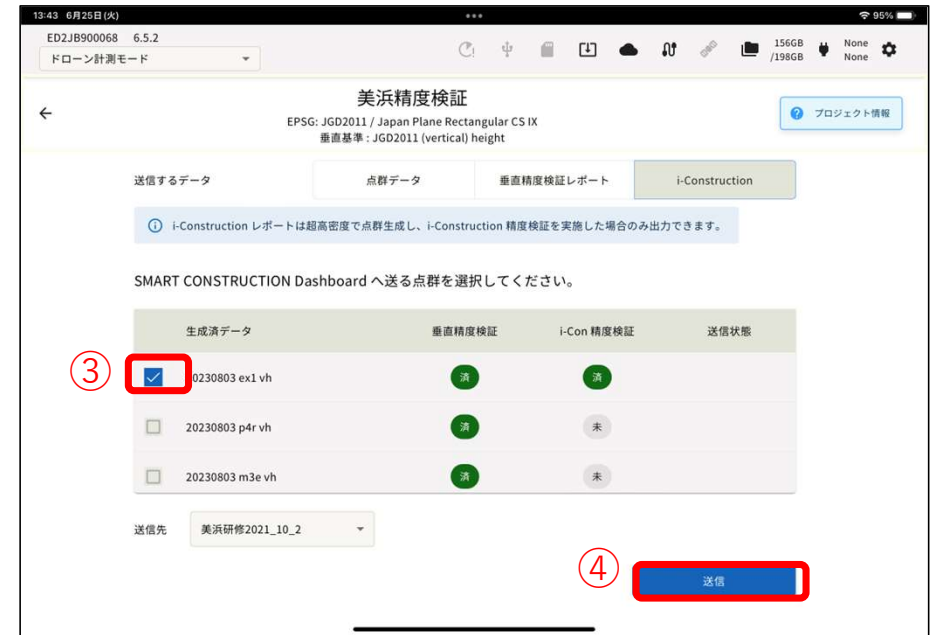
③ データを選択

④ 「送信」を押す



検証結果 誤差が±5.0cm以上のものは赤字で表示されます。

ポイント名	誤差			誤差		
	X(N)	Y(E)	Z	X(N)	Y(E)	Z
1	-43998.818	22788.380	5.726	-0.008	-0.026	0.001
2	-44010.137	22804.140	5.688	0.019	0.024	-0.025
3	-44029.353	22807.970	3.453	0.013	0.012	0.003
4	-44038.292	22798.711	3.657	0.018	-0.003	-0.019
5	-44041.913	22792.020	3.746	-0.005	-0.006	-0.002
6	-44017.466	22787.213	3.578	-0.017	-0.005	-0.018
7	-44007.193	22774.822	3.614	0.006	0.011	-0.014
8	-43976.599	22771.210	5.544	0.010	0.012	-0.012
9	-43996.435	22748.865	3.810	-0.010	-0.013	-0.003
10	-43981.828	22751.557	6.618	-0.022	0.017	-0.004

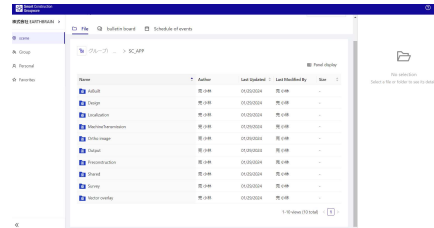
送信するデータ

生成済データ

生成済データ	垂直精度検証	i-Con 精度検証	送信状態
<input checked="" type="checkbox"/> 0230803 ex1 vh	済	済	
<input type="checkbox"/> 20230803 p4r vh	済	未	
<input type="checkbox"/> 20230803 m3e vh	済	未	

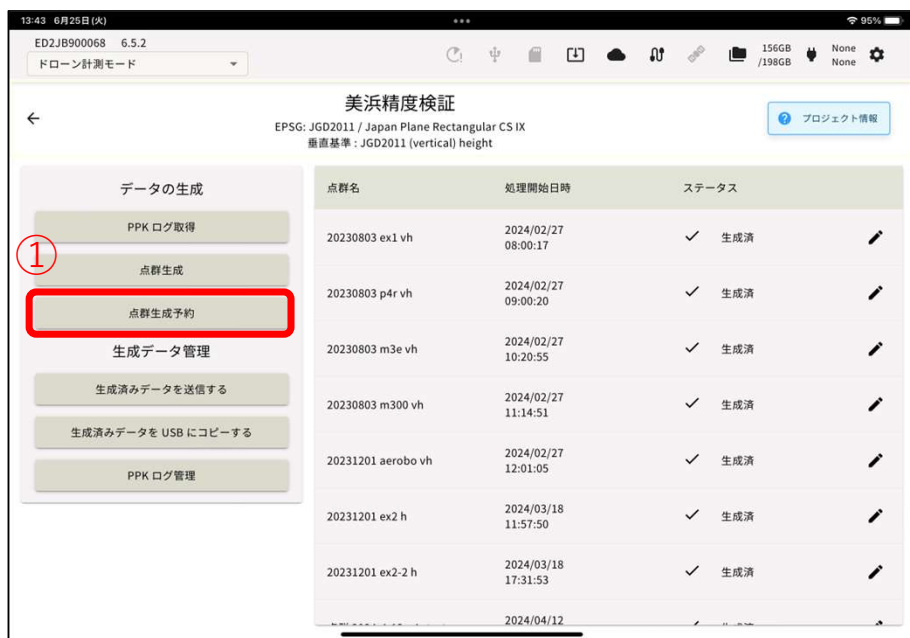
送信先 美浜研修2021\_10\_2

送信



Groupware→SC\_APPフォルダ内→SCEDGEフォルダ内に格納されます

① 「点群生成予約」 を選択



② 「クラウドに送信する」 をチェック

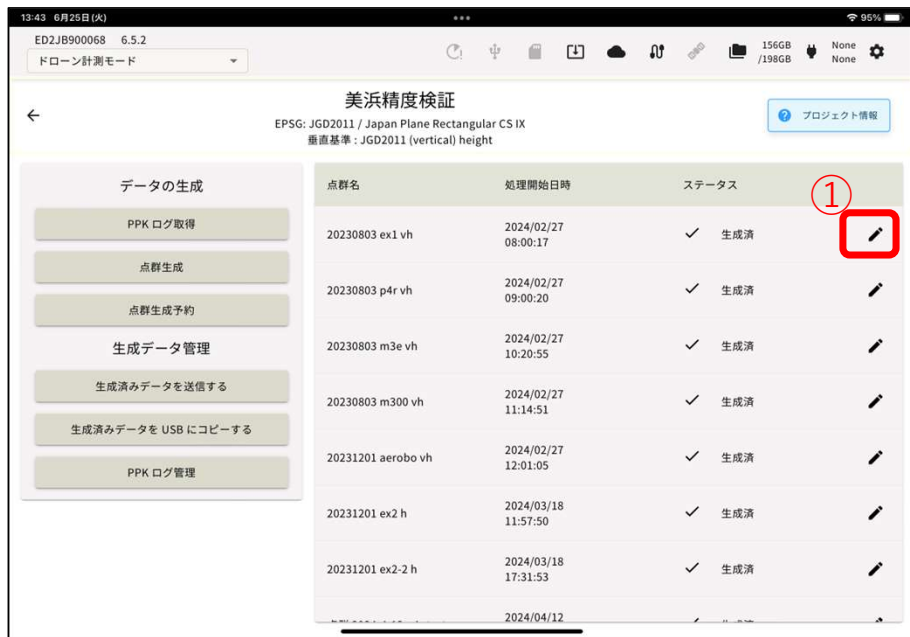
③ 送信先のプロジェクトを選択

④ 「次へ」 を選択し、フライトデータの選択画面へ遷移



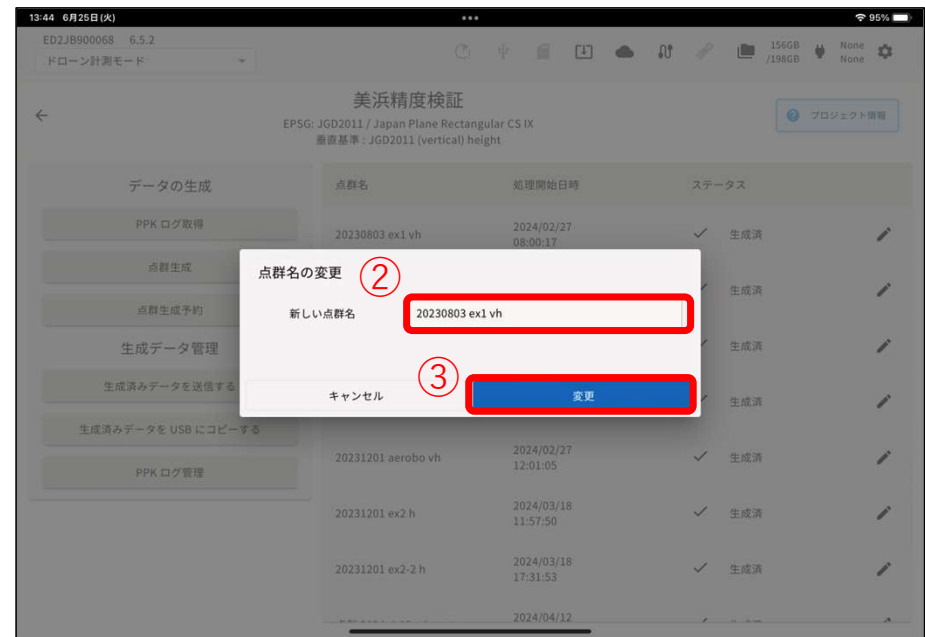
※SC Edge2起動時に有線LAN、LTEでネットワーク接続が無かった場合、②、③は表示されません。

①点群名表示の右端のペンアイコンを押す



②新しい点群名を入力

③「変更」を押す



①緯度経度表示の小数点以下が9桁に変更となった

13:45 6月25日(火) ED2JB900068 6.5.2 固定局モード

美浜精度検証  
 EPSG: JGD2011 / Japan Plane Rectangular CS IX  
 垂直基準: JGD2011 (vertical) height

固定局モードの設定を行ってください。

Topo1			緯度/経度: DMS		
X(N)	Y(E)	Z	緯度	経度	楕円体高
-44043.589	22791.033	3.774	35.360989613	140.050555661	38.608

LTE Wi-Fi 外部無線機

利用されている衛星数: 0

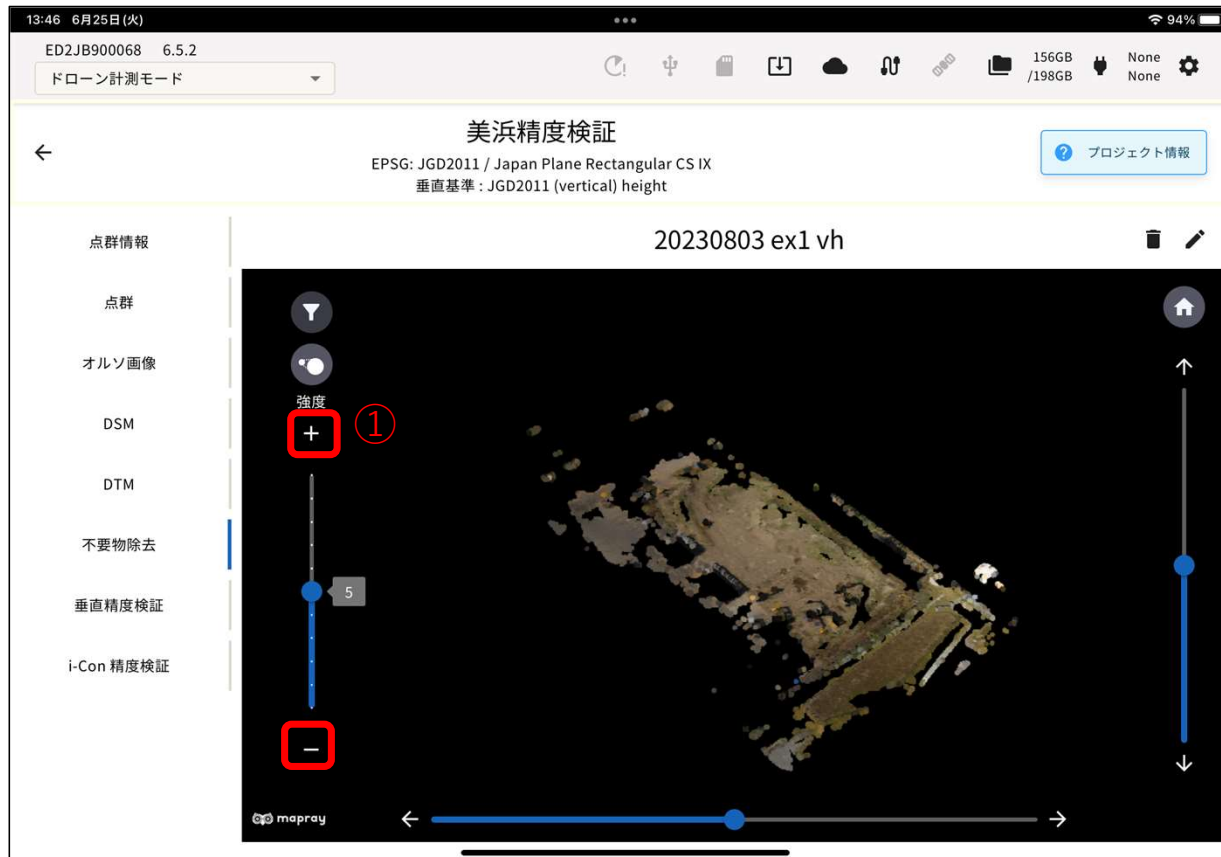
GPS: 0  
 QZSS: 0  
 GLONASS: 0  
 Galileo: 0  
 BeiDou: 0

ポール高 (小数点以下3桁まで)  メートル

ポール高の計測方法

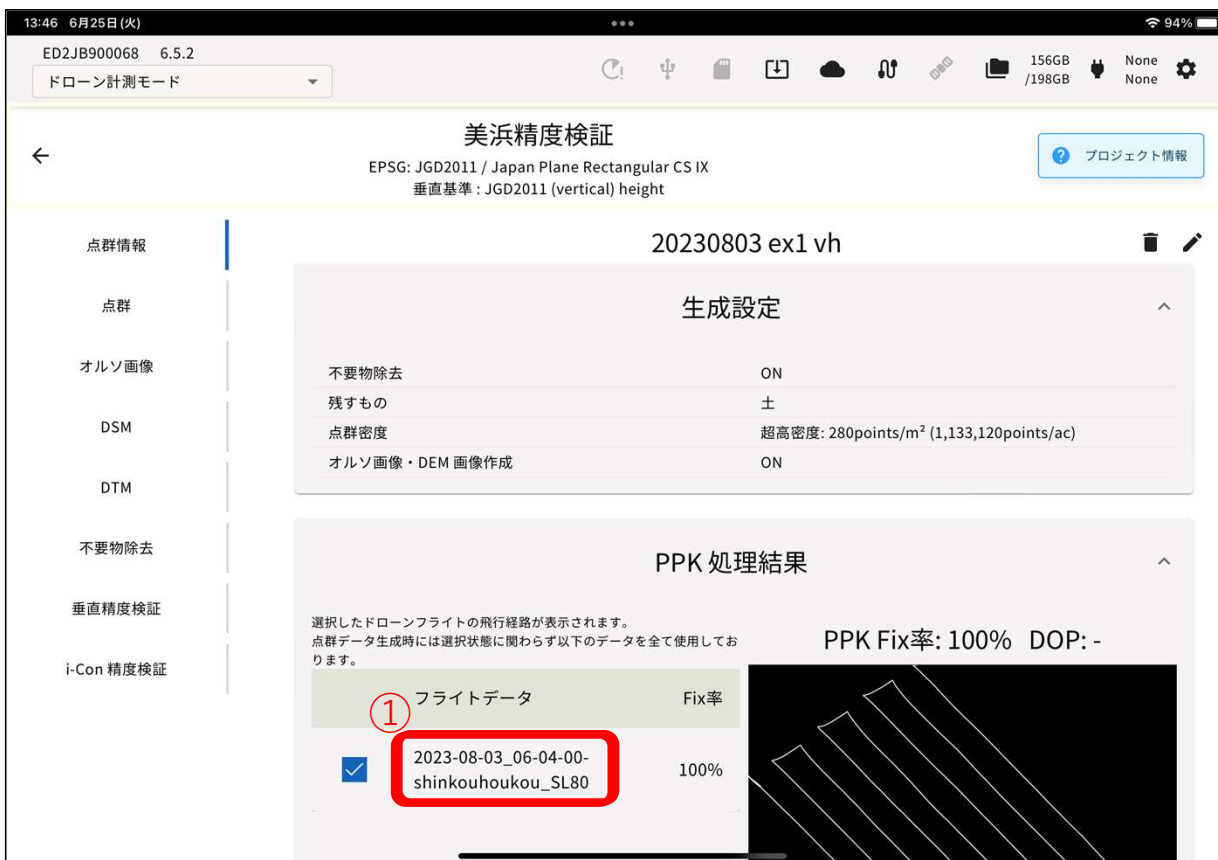
配信開始

①不要物除去の強度をスライダーだけでなく、±ボタンで変更可能となった





①フライトデータ名が途中で切れることなく複数行にわたり表示されるようになった



The screenshot shows the '美浜精度検証' (Mihama Accuracy Verification) screen in the EARTH BRAIN mobile app. The interface includes a top navigation bar with the user ID 'ED2JB900068' and version '6.5.2'. A sidebar on the left lists various data types: 点群情報, 点群, オルソ画像, DSM, DTM, 不要物除去, 垂直精度検証, and i-Con 精度検証. The main content area is titled '20230803 ex1 vh' and contains two sections: '生成設定' (Generation Settings) and 'PPK 処理結果' (PPK Processing Results).

**生成設定 (Generation Settings):**

- 不要物除去: ON
- 残すもの: 土
- 点群密度: 超高密度: 280points/m<sup>2</sup> (1,133,120points/ac)
- オルソ画像・DEM 画像作成: ON

**PPK 処理結果 (PPK Processing Results):**

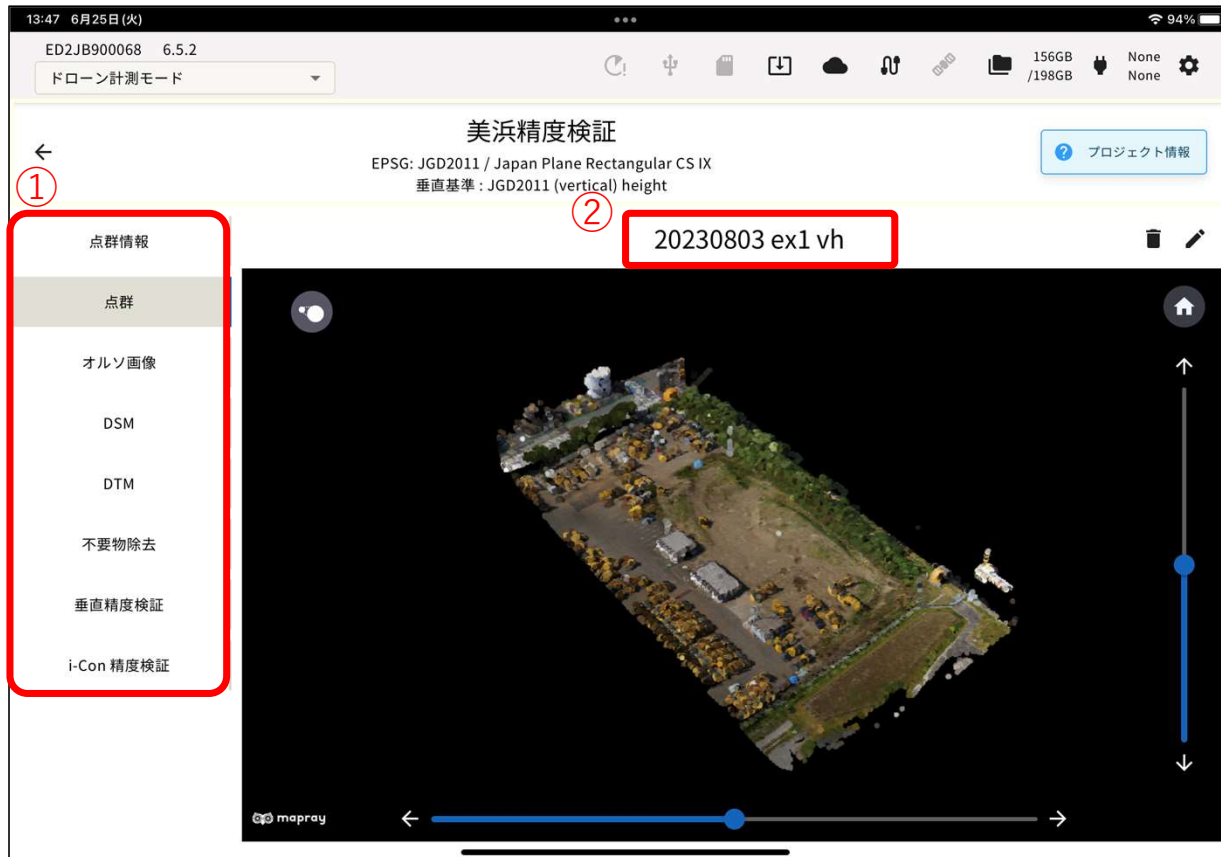
選択したドローンフライトの飛行経路が表示されます。  
点群データ生成時には選択状態に関わらず以下のデータを全て使用しております。

PPK Fix率: 100% DOP: -

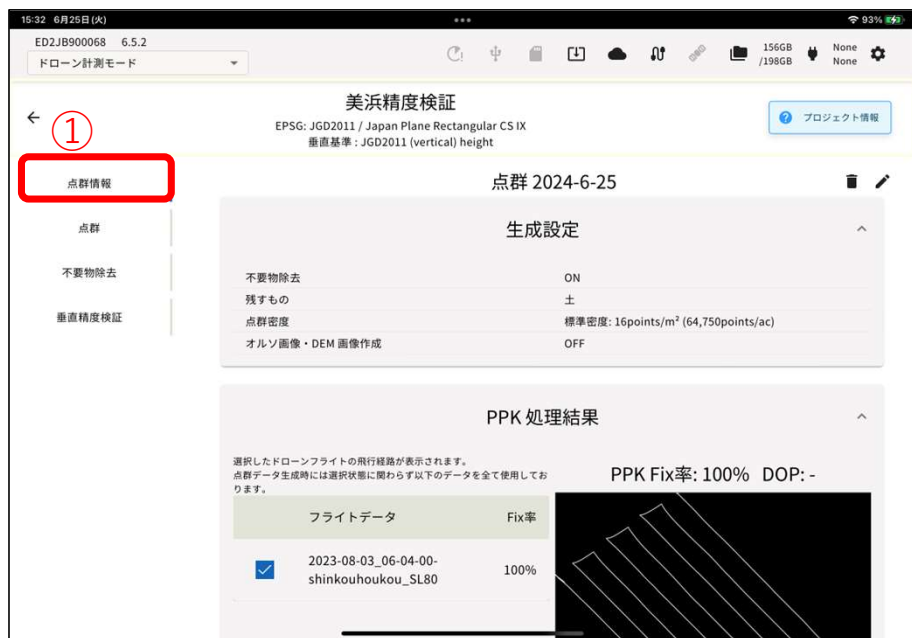
フライトデータ	Fix率
<input checked="" type="checkbox"/> 2023-08-03_06-04-00-shinkouhoukou_SL80	100%

The flight data name '2023-08-03\_06-04-00-shinkouhoukou\_SL80' is highlighted with a red box and a circled '1', indicating the full display of the name across multiple lines.

- ①左端のいずれかの画面を選択
- ②点群名表示が追加された。



①点群情報を押す

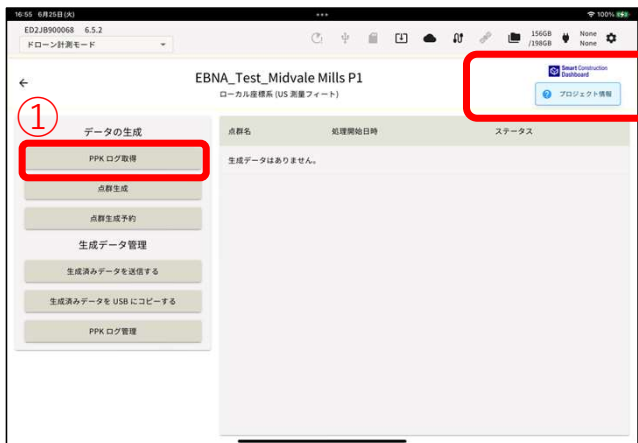


②下にスクロールすると「生成情報」が表示される

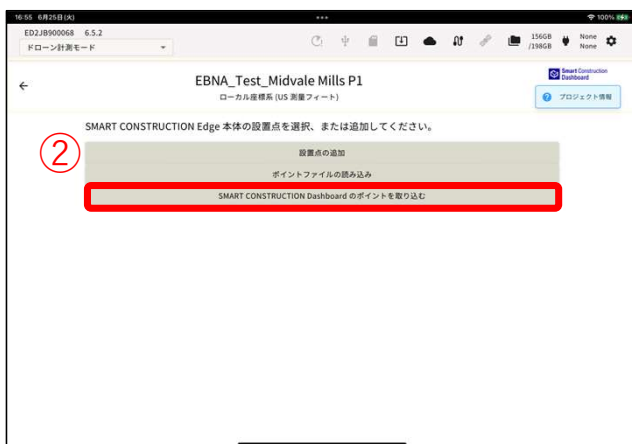


① 「PPKログ取得」を押す

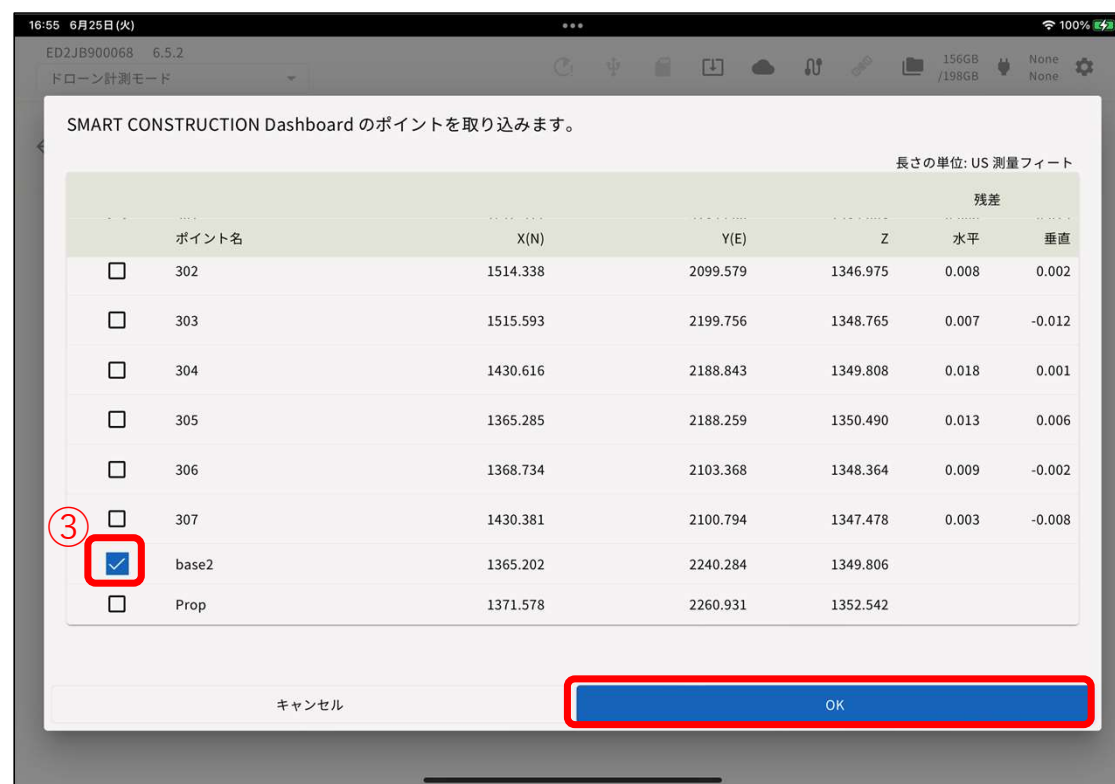
ダッシュボード連携プロジェクトはダッシュボードアイコンが表示され  
またプロジェクト情報をタップすると読み込みがG C 3情報を後からでも確認可能です。



② 「SMART CONSTRUCTION Dashboardのポイントを取り込む」を押す



③ Dashboardに登録されているポイントのリストが表示されるので、設置点を選択し、OKを押す



## • アップデート手順

### ■v6-RC1.1

OTA名称：“v6-RC1.1”

FW VERSION：“6.7.1”

OS VERSION：“4.1.4”

- ※IOS 16以上にIPADのOSアップデートすることを推奨いたします。

EDGE 2 FWアップデート、OSアップデートはバックグラウンドで自動で実施されます、  
特にお客様で特別な操作は必要はありませんが、良好なネットワーク環境でのEDGE本体のON、OFFの操作のみ必要です。

※**配信およびダウンロード**はバックグラウンドで行われますので、EDGE 2稼働中であっても機能は制限されず通常通り使用可能です。

○下記にアップデート方法を記載致しますのでご確認ください。

#### 1. 電源をONにする

※必要に応じて電源ON前にあらかじめSIMを挿入しておく、有線の場合は電源ON後の接続でも問題ございませんが、LANにセキュリティを介している場合はオンラインになりませんのでLANの場合はEDGE 2がオンラインになっていることをWEBのページを見るなどで確認してください。

#### 2. FWのダウンロードが終了するまで待つ

有線LAN接続など、良好なネットワーク環境なら30分、LTEなどであれば1時間以上

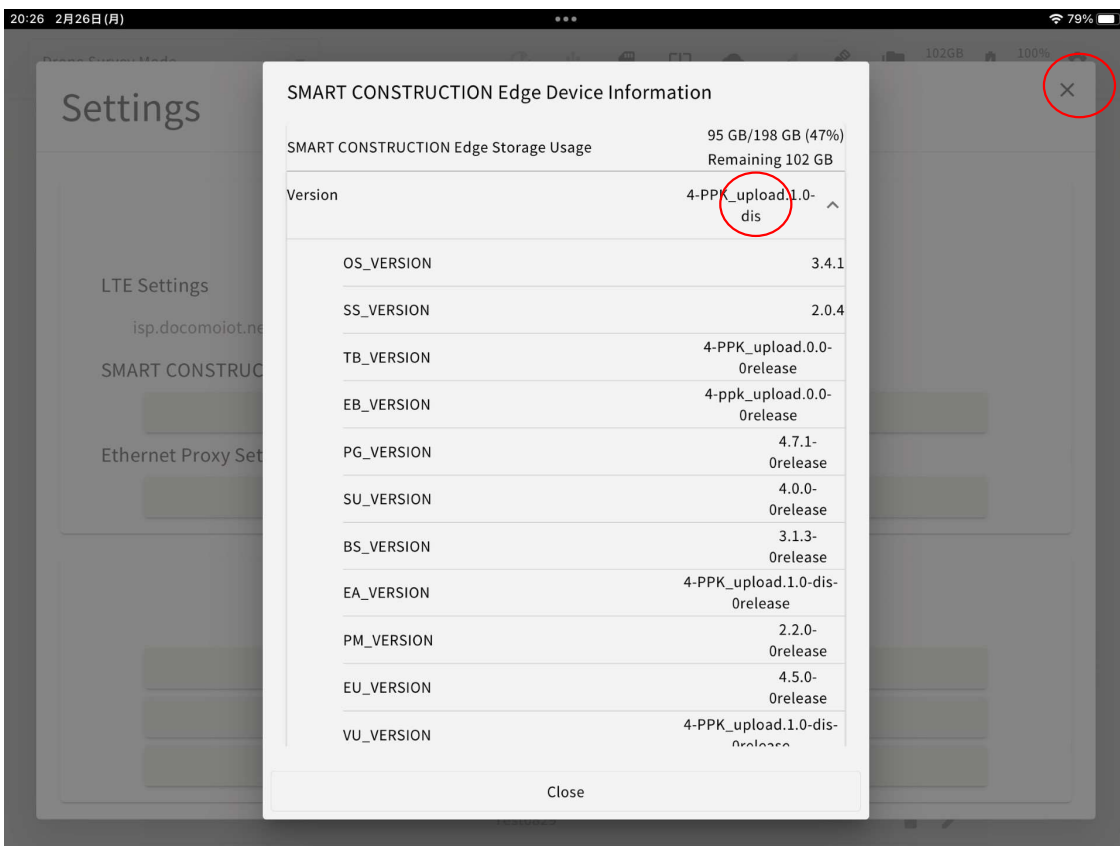
※回線速度は下り50Mbps程度を良好と想定しています、環境によっては3時間～4時間程度  
長時間アップデートに時間が掛かる場合がありますので、ご注意ください。



3. 電源をOFF/ONする

4. FWファームウェアバージョンを確認する

設定画面→SMART CONSTRUCTION Edge本体情報から、アプリのバージョンが「案内された最新のver 0.0.0」になっていることを確認する  
更新されていなかったら、1からやり直す。更新されていれば5に進む



## 5. OSのダウンロードが終了するまで待つ

有線LAN接続などの場合15分、LTE等であれば30分以上

※上記同様に回線環境に依存します。

## 6. 電源をOFF/ONする

## 7. OS\_VERSIONを確認する

設定画面→SMART CONSTRUCTION Edge本体情報から、OS\_VERSIONが「案内された最新のver 0.0.0」になっていることを確認する。更新されていなかったら、5からやり直す。更新されていれば終了となります

